



令和8年度
学校だより
5月号

自ら輝くときわの子
～一人ひとりが輝く存在に～
互いに学び合い
自分らしさを発揮する子の
育成を目指します

令和8年4月30日
横浜市立常盤台小学校
TEL 331-4808
FAX 331-5429

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tokiwadai/>

「ことば」の力

児童支援専任 藤井 翠

新年度が始まり、子どもたちの元気いっばいの声が学校にあふれています。教室や校庭では、「一緒に遊ぼう!」「いいよ!」といったあたたかいやりとりが自然と生まれ、新しい関係が少しずつ築かれてきているようです。その一方で、「今のいやだったな。」「どうしてそんなこと言うの?」といった、ことばの行き違いから気持ちがすれ違ってしまう場面も見られます。

こうした子どもたちの姿を見ていると、日々交わされている「ことば」について、改めて考えさせられます。私たちが何気なく使っていることばには、人の心をあたたかくしたり、反対に傷つけてしまったりする力があります。昔から「言霊(ことだま)」という言葉があるように、ことばには目には見えない大きな力が宿っています。

子どもたちは、日々の関わりの中で、ことばの持つ力を実感しながら成長していきます。「ありがとう。」と言われて嬉しくなったり、「大丈夫?」と声をかけられてほっとしたりしたその記憶は、心にずっとあたたかく残ります。そしてその経験が、今度は自分が誰かに優しいことばをかける力へとつながっていきます。ことばを通して人とつながり、関係を広げていくのだと思います。

ご家庭でも、「頑張ったね。」「ありがとう。」「大丈夫だよ。」といったことばをかける場面があることと思います。大人からかけられたことばは、子どもたちの中に積み重なり、自分に自信をもつことや前を向いて進んでいく力につながります。何気ない一言が、子どもたちの大きな支えになっていくのです。

本校では、子どもたち一人ひとりの思いや声に耳を傾けながら、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。ことばの力を大切に、互いに認め合い、支え合える関係を育てていきます。日々の学校生活の中では、子どもたちがことばに悩んだり、思いが上手く伝えられず困ったりする姿も見られます。そうした一つひとつの場面を大切にしながら、どのように伝えればいいのか、どんなことばが相手を大切にするのに繋がるのかを子どもたちと一緒に考えていきます。気になることやご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。学校とご家庭とで連携しながら、子どもたちの成長を支えていければと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。